

## ■規約追加説明

現状の規約と重複している部分があることをご了承ください。

### 【浅ダナ・チョウチン一本勝負! のみ】

浅ダナ釣り時のタナは、ウキより第1オモリまで1m~1.5mを基準とします。

チョウチン釣りの定義は、ジャパンカップ全大会に準じます。

### 【以下は全大会に適用】

- チョウチン釣りでのウキの位置は穂先から使用ウキ1本分以上の間隔を空けること。  
但し、穂先から60cm以内とします。(全長が60cmを超えるウキの使用は禁止します。)
- チョウチン釣りにおけるタテ誘いの回数は2回までです。故意に上下、前後左右へウキを動かす行為は誘いとみなします。  
なお、3回目の誘いは、故意・過失にかかわらず、審判が発見次第失格となりますのでご注意ください。  
要するに、2回誘った後は以下の行為のみとなります。
  - ・待ち続ける
  - ・打ち直し
  - ・合わせ(合わせの後は、取り込みもしくは打ち直ししかありません。待つのは違反です。)
- ウキの水没を防止するために竿でぶらさげる行為も誘いとみなします。  
ただし、仕掛け投入直後の水没の『保持』は誘いにカウントしません。  
1回でも誘いをかけた時点からのカウントとします。  
《例》
  - ①投入直後にウキ水没状態になり、一定以上の沈下を避けるべく、ぶらさげた状態で保持。  
自然にトップが浮いた状態で誘い(もしくはぶらさげ)・・・あと2回、誘いOK。
  - ②投入直後にぶらさげた状態で保持したものの、ウキが浮かないので持ち上げる・・・誘い1回とみなし、誘い(もしくはぶらさげ)はあと1回のみOK。  
※すなわち、『保持』とは手(竿)を全く動かさない状態を指します。
  - ③2回の誘い後も水没する場合は、ぶらさげること自体が違反なので、速やかに仕掛けを上げてください(打ち直し)。  
また、その際に掛かったへらは釣果に入れてはなりません  
(ミャク釣り禁止・ウキが見えてる状態以外の合わせ禁止のため)。
- ミャク釣りは禁止です。
- ウキが水没している状態で合わせないでください。  
ミャク釣りともみなします。合わせはウキのトップが出ている状態で行なってください。
- チョウチン以外の釣りにおける誘いに関しては特に規定いたしません。
- アタリに対して合わせた後、上下のハリにエサを付けずに打ち返すことは禁止です。  
合わせの後は、必ず打ち直してください。

※地区大会においては、審判の人数に限りがあります。他の選手が不審な場合の確認や、自身の行為の判定が必要な時は、手を上げて審判を呼んでください。但し、自身の確認が度重なる場合は、審判行為の妨害とみなし、失格とさせていただきます。

審判は巡回検査を行なう場合が多々あります。相応の気遣いを払って歩行しますのでご了承ください。

今後、状況等を考りよしてルールを改善していく可能性があります。ご理解ご協力のほど、お願い申し上げます。